

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/小清水和彦

## 申1号「東海道線大船駅構内で発生した列車と電化柱が衝突した事象に関する緊急申し入れ」団体交渉を行う！！

2023年8月5日東海道線大船駅構内において、列車と電化柱が衝突し運転士とお客さまが負傷しました。横浜地本は原因と対策を明らかにするため、団体交渉を10月24日に開催しました。

### 申し入れ内容と回答

1. 今回の事象に対する原因を明らかにすること。

回答:本事故の原因については、当該電化柱に一時的に大きな荷重が加わりひび割れが生じ、常時荷重によりひび割れが閉じない状態が継続した。その当該電化柱に浸入した雨水により一部の鉄筋が腐食し破断したことで、電化柱が根元部から折損し傾斜したと推定している。

2. 今回の事象に対する具体的な対策を明らかにすること。

回答:当該電化柱と同様にひび割れが発生した場合に閉じない状態が継続する可能性のある単独コンクリート柱を「重点管理柱」と定め、補強等の対策を実施していく。

### 明らかになったこと

- ・電化中の耐用年数は80年である。
- ・当該電化柱は1980年製で43年が経過し、前回の検査は2022年5月である。
- ・重点電化柱は横浜支社内では20本ある。会社全体では99本ある。
- ・今後の対策として、重点電化柱には根元に鋼材を組んで柱に囲む補強を12月までに行う。
- ・架線柱にかかる負荷加重を8割から7割未満に変更をすることで、ひび割れをふさぐことができる。
- ・電化柱等の乗車目視検査は東海道線では5日周期、外観目視は3年周期である。
- ・一時的に大きな荷重が加わった原因として「地震・台風」等が推定される。
- ・カメラで撮影した画像を解析する方法や、コンクリートの外から検査する方法を検討中。
- ・お客様の避難誘導には様々なシチュエーションがあり、検討が必要。

今回の事象を教訓化とし、次に活かすことを確認をする！